

令和3年度 第5回庁議 次第

日時：令和3年7月9日（金）

9：00～9：30

場所：6階第1・第2特別会議室

付議事項

1 審議事項

(1) 復帰50周年記念事業について

【資料】

資料1 復帰50周年記念事業について

令和3年度 第5回庁議 出席者名簿

日時: 令和3年7月9日(金) 9:00~9:30

場所: 6階第1・第2特別会議室

NO.	部局名	代理等	職名	氏名
1			知事	玉城 デニー
2			副知事	謝花 喜一郎
3			副知事	照屋 義実
4			政策調整監	島袋 芳敬
5	企業局		企業局長	棚原 憲実
6	病院事業局		病院事業局長	我那覇 仁
7	教育庁		教育長	金城 弘昌
8	警察本部	代理	警務部参事官	山内 敏雄
9	知事公室		知事公室長	金城 賢
10	総務部		総務部長	池田 竹州
11	企画部		企画部長	宮城 力
12	環境部	代理	環境企画統括監	普天間 朝好
13	子ども生活福祉部		子ども生活福祉部長	名渡山 晶子
14	保健医療部		保健医療部長	大城 玲子
15	農林水産部	代理	農政企画統括監	下地 常夫
16	商工労働部	代理	産業振興統括監	下地 誠
17	文化観光スポーツ部		文化観光スポーツ部長	宮城 嗣吉
18	土木建築部		土木建築部長	島袋 善明

復帰50周年記念事業について

令和3年7月
沖 縄 県

復帰50周年記念事業について

1 趣旨

沖縄県は、令和4年に本土復帰50周年を迎えることから、この大きな節目を契機として、県内はもとより、国内外に向け、これまでの沖縄の発展のあゆみや将来の可能性を発信していくため、復帰50周年記念事業を実施する。

2 復帰50周年記念事業のテーマ

これまでの沖縄の発展のあゆみや将来の可能性を発信する以下4つのテーマの事業を実施。

- (1) 事業を通して、新たな振興計画、新時代沖縄の展望を県民と共有し、沖縄の可能性を国内外に発信する。
- (2) 事業を通して、復帰から50年間の歴史を振り返り、先人たちの労苦と知恵に学ぶとともに、誇りある豊かさに向けた展望を発信する。
- (3) 事業を通して、祖先への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添う肝心など、沖縄文化の魅力を共有し、恒久平和を願い、喜びを分かち合うユイマールの思いを大切にす、沖縄らしいやさしい社会の実現に向けた機運を高める。
- (4) 令和4年度に着工又は完成（一部完成）し、本県の新たな飛躍を展望する大型プロジェクト等を県民をはじめ県内外に周知し、利用を促進するとともに、本県経済社会の自律的な発展を推進する。

3 復帰50周年記念事業の検討状況について

- (1) 上記2(2)のテーマに該当する「復帰50周年記念式典」及び2(3)のテーマに該当する「美ら島おきなわ文化祭2022」については、規模が大きく、今後幅広い関係者と長期的な調整を必要とするため、本日の庁議による了解及び知事決裁を経て、復帰50周年記念事業として決定し、公表する。
- (2) その他の事業については、担当課室において予算規模や内容等の整理・調整等が進められているところであり、調整の進捗等を踏まえ、今後、順次庁議に諮り、決定するものとする。
- (3) 先般、復帰からこれまでの沖縄のあゆみや将来の可能性について、次世代を担うこどもたちの興味・関心を高め、魅力ある事業を構築することを目的に、高校生への復帰50周年記念事業案募集を開始したところである。
当該募集に応募のあった事業案については、三役を含む選考委員会におけるプレゼンテーションで1件を選定し、その後、提案者と事業内容についてブラッシュアップを行い、令和4年2月の庁議において復帰50周年記念事業として決定するものとする。

復帰50周年記念事業一覧(2事業)
 ※令和3年7月に復帰50周年記念事業として決定する事業

R3.7.9

番号	事業名	事業概要	担当課室
1	「復帰50周年記念式典」の開催	国の関係者、沖縄県の関係者、各界代表、沖縄県と関係の深い外国関係者を招き、復帰50周年の記念式典を開催する。 ※10周年毎に開催	・知事公室 秘書課
2	美ら島おきなわ文化祭2022の開催	美ら島おきなわ文化祭2022は、国民文化祭、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の沖縄大会の統一名称で、各県持ち回りで開催されている全国規模の文化の祭典。復帰50周年記念事業として開催されるもので、国民文化祭は沖縄で初開催となる。大会期間中(2022/10/22-11/27)、市町村とも連携し、県内各地で多彩な文化イベントを開催する。	・文化観光スポーツ部 文化振興課

復帰40周年記念事業一覧（39事業）

番号	事業名	担当部局
1	「復帰40周年記念式典及び祝賀会」の開催	知事公室
2	「県民愛唱歌」の制定	知事公室
3	「復帰40周年記念貨幣(地方自治法施行60周年記念貨幣)」の発行	企画部
4	「駐留軍用地跡地利用提案公募事業」の実施	企画部
5	「沖縄科学技術大学院大学」の開学	企画部
6	「うちなー地域づくりフェスタ(沖縄らしい優しい社会づくりに向けて)(仮)」の開催	企画部
7	「OMC(世界理容美容機構)アジアカップ2012及び第63回全国理容競技大会」の開催	環境生活部
8	「沖縄平和賞シンポジウム」の開催	環境生活部
9	「子や孫につなぐ平和のウムイ(思い)事業」の実施	環境生活部
10	「おきなわ・保育の歴史(仮称)」の発刊	福祉保健部
11	「第35回全国土地改良大会(沖縄大会)」の開催	農林水産部
12	「第23回全国樺サミット沖縄大会」の開催	農林水産部
13	「全国豊かな海づくり大会」の開催	農林水産部
14	「国際沖縄物産観光展」の開催	商工労働部
15	「日本商工会議所青年部第32回全国大会おきなわ那覇大会」の開催	商工労働部
16	「沖縄・中国新時代交流プロジェクト」の実施	文化観光スポーツ部
17	「第6回太平洋・島サミット」の開催	文化観光スポーツ部
18	「日米桜寄贈100周年沖縄県支援事業」の実施	文化観光スポーツ部
19	「第52回ミス・インターナショナル世界大会in沖縄」の開催	文化観光スポーツ部
20	「沖縄伝統芸能等の県内外・海外派遣公演」の開催	文化観光スポーツ部
21	「NHK交響楽団沖縄復帰40周年記念公演」の開催	文化観光スポーツ部
22	「世界エイサー大会2012」の開催	文化観光スポーツ部

番号	事業名	担当部局
23	「沖縄空手道会館(仮称)」の建設	文化観光スポーツ部
24	「2012年度(第77回)日本オープンゴルフ選手権競技」の開催	文化観光スポーツ部
25	「復帰40周年記念特別展『Okinawaから沖縄へ』」の開催	文化観光スポーツ部
26	『本土復帰40周年記念「アジアをつなぐ-境界を生きる女たち1984-2012』の開催	文化観光スポーツ部
27	「伊良部大橋」の整備	土木建築部
28	「南部東道路」の整備	土木建築部
29	「儀間ダム(久米島)」の整備	土木建築部
30	「新石垣空港」の供用開始	土木建築部
31	「沖縄都市モノレール」の延長整備	土木建築部
32	「沖縄まちなみミュージアム(まちなみ・博物館『まち・はく』)」の実施	土木建築部
33	「那覇バスターミナル再開発ビル(仮称)」の整備(モノレール旭橋駅周辺地区市街地再開発事業)	土木建築部
34	「多目的ダム(億首ダム)」の完成	企業局
35	「県立新宮古病院」の完成	病院事業局
36	「教育行政のあゆみ」の発刊	教育庁
37	「沖縄県高等学校総合文化祭及び中学校総合文化祭」の開催	教育庁
38	「沖縄県警察40年の歩み」の発刊	警察本部
39	「沖縄県復帰40周年記念 警察広報活動」の実施	警察本部

沖縄復帰40周年記念式典 概要



- 1 日時 平成24年5月15日（火）
- 2 場所 沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）
- 3 基本構成

第1部 式典（16:00～17:00）

- ・開式 沖縄担当大臣 川端 達夫
- ・国歌斉唱
- ・式辞 内閣総理大臣 野田 佳彦
沖縄県知事 仲井眞 弘多
- ・挨拶 衆議院議長 横路 孝弘
参議院議長 平田 健二
最高裁判所長官 竹崎 博允
在本邦アメリカ合衆国特命全権大使 ジョン・V・ルース
元沖縄開発庁長官 上原 康助
沖縄県民若者代表 下條 義人
仲村 渚
- ・閉式 沖縄県議会議長 高嶺 善伸

第2部 記念レセプション（17:15～18:15）

- ・主催者挨拶 内閣総理大臣 野田 佳彦
沖縄県知事 仲井眞 弘多
- ・鏡開き
- ・乾杯 前沖縄県知事 稲嶺 恵一
- ・歓談（琉球舞踊・空手演武・ゲストLIVE・キッズダンス）
- ・閉会の挨拶 沖縄県副知事 上原 良幸

- 4 招待者 国の関係者、沖縄県の関係者、各界代表、外国関係者等
式典招待者数 1,776名（うち国側：341名、県側：1,435名）

<式典の様子>



<レセプションの様子>



「美ら島おきなわ文化祭2022」について

■ 正式名称

第37回国民文化祭 ※初開催
第22回全国障害者芸術・文化祭 ※2回目（H18）

※毎年、各都道府県が持ち回りで開催しており、平成29年度奈良県から同一開催地において一体的に開催。

■ 国民文化祭(文化庁所管)

観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等の各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典であり、各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流する場を提供するとともに、文化により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、一層の芸術文化の振興に寄与。

■ 全国障害者芸術・文化祭(厚生労働省所管)

全ての障害者の芸術及び文化活動への参加を通じて、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障がいへの理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与。

■ 沖縄大会

令和4年の日本復帰50周年の節目の年に、美ら島おきなわ文化祭2022（統一名称）を開催し、沖縄の文化の魅力を県内外に発信し、観光との連携等県内各地域の活性化を促進。

■ 開催期間

令和4年10月22日～令和4年11月27日(37日間)

■ 沖縄大会テーマ

「文化芸術の花 咲いわり」

沖縄の文化芸術が花開き世界に知れ渡り、多くの人とその美しさに感動してほしいという願いが込められています。

■ 基本方針

- ①かかわる（県民一人ひとりが文化芸術の担い手）
- ②ひろげる（多様性の尊重）
- ③つなぐ（文化芸術の継承）
- ④つたえる（琉球文化のルネサンス）

■ 沖縄大会シンボルマーク



文化芸術を手で包み込み守り続けるような形、蕾のように今まさに文化芸術が花開く瞬間を切り取った形をイメージしています。

赤から黄はデイゴの花や首里城、大綱引きの綱をイメージし、その綱は人々の団結と継承や繋いでいく想い、輝く太陽と広がる文化芸術を表現。

青は沖縄の美しい海と空、障がいのある人もない人も公平な世界を表現。

緑は沖縄の大自然のように広く雄大な心を表し、植物のツルが結ばれるように歴史や文化芸術がこれからも継承されていく未来の沖縄を表現しています。

■ 事業内容

○主催事業

①総合フェスティバル(県実行委員会)

オープニングイベント
開会式
沖縄文化発信事業
シンポジウム
国際交流事業
障がい者交流事業
閉会式

②分野別フェスティバル(市町村実行委員会)

継続事業
独自事業

【分野・内容】民謡、音楽、合唱、オーケストラ、演劇、舞踊、邦楽、文芸、美術及びお茶などの生活文化 等

○協賛事業

○連携事業

○応援事業

■ お問い合わせ先

美ら島おきなわ文化祭2022沖縄県実行委員会事務局

(沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課 国民文化祭・障害者芸術文化祭準備室)

Tel:098-917-1108